

遊ぶ

■紙のめんこ

紙のめんこは、全国的に多くの子どもたちに長く愛された遊びとして存在しました。その背景には、安価なおもちゃであったことが挙げられます。加えて、地域や貧富の差にあまり左右されず、皆が遊べるおもちゃという性質を持っています。この遊びは友達と交流するだけにとどまらず、真剣勝負としての場としての役割も担っていたのです。絵には、武将、映画やテレビ、マンガなどの憧れのヒーローたちなどが絵描かれました。これによって、子どもたちにはヒーローたちがより身近な存在に感じられました。憧れがおもちゃという形で登場したことで、夢中になった子どもたち。彼らは、勝負に勝って新たなめんこを手にするため、より強いめんこを求めて勝負と改良を重ね、遊びの技術を磨く日々を送りました。

■子どもたちの遊び

子どもたちは、これまで季節の移ろいを感じながら、自然の中で遊ぶ、または、自ら工夫して生み出した道具で遊んでいました。しかし、マンガやテレビなどの影響を受けるとともに、おもちゃを買って遊ぶという変化が訪れたのです。



▲紙製のめんこ（当館蔵）